

安全のための取り組み

災害の教訓を活かす

9月1日の防災の日を含む防災週間（8月30日～9月5日）及び9月9日の救急の日を含む救急医療週間（9月8日～14日）に町内ではさまざまな取り組みが行われました。災害の未然防止と被害の軽減を図るために、災害から得られた教訓を的確に活かし、日ごろから災害時における被害軽減に対する備えの充実強化とともに、迅速かつ適切な防災活動と被災後の円滑な復興・復興に努めることが大切

です。

安全・安心に向けて

自然災害から安全安心を得るためには、住民一人ひとりが行う「自助」、地域社会が主体となつて取り組む「共助」、そして国や地方公共団体による「公助」があり、それぞれの連携が重要だといわれています。

安平町でもさまざまな団体や機関との協力を得ながら、地域住民の皆さんが安全で安心できるまちづくりを進めています。

地震が発生した場合の心得

①まず身の安全を確保
丈夫なテーブルや机の下に隠れ、落下物などから身を守りましょう。

②慌てて屋外に飛び出さない
大きな揺れに驚いて外に出るのは危険です。揺れがおさまった後、看板などの落下物に十分に注意しながら避難所など安全な場所に移動しましょう。

③火の始末の対応
地震発生時の火の始末は火災を防ぐ重要なポイントですが、タイミングを誤ると思わ

ぬケガを招くこともあります。揺れの大きさを判断し落ち着いて火の始末をしましょう。

④脱出口を確保
地震によって建物が歪み、入り口が開かなくなる場合がありますので、ドアや窓を開け屋外にすばやく脱出できるようにしましょう。

⑤家具から離れる
本棚や食器棚の倒壊による下敷きを防ぐため、揺れを感じたら家具から離れましょう。

また、家具の転倒防止のため事前に壁などに専用の器具でしっかりと固定し予防することも大切です。

⑥ガラスの破片に注意
地震で割れたガラスの破片によるケガを防ぐため、スリッパなどを履きましょう。あらかじめ各部屋にスリッパを用意しておくといざというとき便利です。

⑦出火した時はすぐ消火
二次災害の火災を防ぐためには初期消火が重要なポイント。大声で近隣に火事を知らせ、隣近所の人たちと協力して消火に努めましょう。

いつ起こるか分からない地震に備え、非常食や飲料水の確保を含め、家族で防災についての話し合いをしましょう。



9月2日に行われた追分中学校の消火訓練



追分小学校の避難訓練(写真上)と



消防職・団員による消防演習
(9月7日、安平小学校グラウンド)



追分幼稚園の消防署見学
(9月16日、追分出張所)



普通救急救命講習会
(9月13日、町民センター)